

平成 16 年度福岡市予算が成立 議員提案の条例案も合わせて可決

福岡市議会の平成 16 年度第 1 回定例会が 2 月 23 日より開催され平成 16 年度予算(総額 1 兆 8 9 8 7 億円)及び条例案 38 件、更に議員提案条例案 2 件が審議され可決しました。その内公明党提案の事業も多数採用されましたので、主なものを紹介します。

男女共同参画を推進する条例の制定

国会で平成 11 年に男女共同参画基本法が制定され、福岡市でも男女共同参画社会を推進していくため制定されました。

子供プラザの新設

乳幼児親子が集える子供プラザを本年度は西区・城南区・中央区・南区に設置することになりました。

留守家庭子供クラブ事業開始

留守家庭子ども会で、障害児の受入学年を拡大すると共に、子ども会の大規模化と開設時間の延長の要望に因應するため幼稚園等を活用した子供クラブを設置します。

ブックスタート事業開始

本年度から 4 ヶ月検診時に絵本を配布し、読み聞かせを通して親子のふれあいや乳幼児との読書活動を推進していきます。



東区香椎駅前街頭遊説
(渡辺ひろえ議員撮影)

火災時の市営住宅入居実現

これまでは災害時しか認められていなかった、市営住宅への入居が火災の場合にも一時避難として可能になりました。

として提案し賛成多数で可決しました。

スポーツレクリエーション施設の充実

社領 2 丁目にもスポーツ広場新設と、みなと 100 年公園に野球場とグラウンドを整備することが決定しました。

この条例は福岡市が 2 分の 1 出資している法人に対し 3 億円以上の工事または製造の請負や、4 千万円以上の買入や売払いに対し議会に報告を義務付けました。4 分の 1 以上の法人に対しても報告努力を課しています。

第三セクター条例案可決

福岡市が出資している外郭団体に対する、契約の透明性を高めるための条例案を公明党

この条例が施行される事により、ケヤキ庭石問題などの高額な取引に対して一定の縛りをつけることになり、市民の監視の目が行き届くよう整備を図りました。

いよいよ本年 7 月、参議院選挙が実施されます。

公明党は与党の一員として全国各地で生活者の暮らしを守る視点から全力で取り組んで参りました。昨年発表したマニフェストの内、早くも 31 項目について大きく前進させています。

税金のムダ遣いを無くすため公務員の通勤手当など各種調整手当の見直しも図っております。また小児救急電話相談の事業化や児童手当の対象年齢を小学 3 年まで拡充することが決定しました。

参議院比例区にひる友和夫を予定しております。これからも生活与党として皆様の声を政治に反映してまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

山口 剛司

17年度予算 に反映された 公明党市議団 の主張を紹介 します。

この3月議会で成立した福岡市の平成17年度予算には山口議員をはじめ公明党市議団が主張していたことが、数多く反映されています。それらの中からいくつか紹介いたします。

小学一年生で小人数学級

本年4月から民間会社から防犯笛の寄贈を受けたので福岡市の新年度にも実施する考えで配布方法や対象などの検討に入った。

携帯電話へ不審者情報の発信

各地で保護者の携帯電話へメール配信するシステムを実施している。本市で実験を始めるよう要望。当局は研究していくとの答弁がある。

った。

子供プラザと子育てサロンの連携を促進

乳幼児親子が集える子供プラザを本年度は西・城南・中央・南区に設置するが他の区でも保健福祉センターと市民センターが連携し、若いお母さん方のよき相談相手になるよう子育てサロンとも連携し安心して暮らせるよう実施していく事が決まった。

留守家庭子供クラブ事業開始



地下鉄天神駅ほか改築状況を視察

地下鉄ホームが、より安全になりました。福岡市は市営地下鉄1号線(姪浜 福岡空港)の13駅全てのホームに線路への転落防止用

ホームドアの設置を進めています。

先ごろ山口議員を始め公明党福岡市議団は、天神駅を訪れ1月末から稼働しているホームドアを視察いたしました。2号線についても早急に整備するよう要望しております。このホームドアの設置に車両は磁力を使って動く鉄輪式リニアモーターシステムで九州初。現行よりコンパクトになりました。